

時間割コード	G1D11606	開講年度	2026				
授業題目	プラクティカル・イングリッシュ（初級）					担当教員	蓬菜 朋子
英文授業名	Practical English						
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・3時限	対象学生	E 【6】
講義室	共通教育 4 6 講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	大学 D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					英語を使い他者とコミュニケーションを取ることができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	Practical English IIに引き続き、日常英語やビジネス英語など実用的な英文（ 広告・案内文・手紙など ）を多く読み、日常的な英会話を聞き理解する。併せて、実用的な英語表現・文法・語法・コロケーションの確認、ビジネスや日常場面での頻出語彙の確認、リスニング・リーディングの演習も行うことにより、プラクティカルな受信型の英語コミュニケーション能力（主にリスニングスキル及びリーディングスキル）を養っていく。 結果として、英語資格試験において求められるスキル（語彙力・文法力・リスニングスキル・リーディングスキル）の習熟にもつながる。						
(5)授業のキーワード	Practical English Listening Skill Reading Skill						
(6)授業計画	第1回 ガイダンス 第2回 Doing Business Online (Unit 8)/ Dollars and Scents (Unit 7) 第3回 Doing Business Online (Unit 8)/ Dollars and Scents (Unit 7) 第4回 Housing (Unit 9)/ Great Explorers (Unit 8) 第5回 Housing (Unit 9)/ Great Explorers (Unit 8) 第6回 Making Deals & Contracts (Unit 10)/ Identity (Unit 9) 第7回 Making Deals & Contracts (Unit 10)/ Identity (Unit 9) 第8回 中間試験・解説 第9回 Public Service (Unit 11)/ Facing Change (Unit 10) 第10回 Public Service (Unit 11)/ Facing Change (Unit 10) 第11回 Banking & Finance (Unit 12)/ Fact or Fake? (Unit 11) 第12回 Banking & Finance (Unit 12)/ Fact or Fake? (Unit 11) 第13回 At Seminars & Workshops (Unit 13)/ Going to Extremes (Unit 12) 第14回 At Seminars & Workshops (Unit 13)/ Going to Extremes (Unit 12) 第15回 Review・授業アンケート 第16回 期末試験						
(7)成績評価の方法	課題、小テスト、中間試験（40%） 期末試験（40%） TOEIC IPテストのスコア(10%) （評価点(10%)へのスコア換算式：取得スコア×0.018 【上限10%】） 「Practical English 9 (Reallyenglish)」の自学自習(10%)						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・授業で行う小テストに備えて自習をしてください。 ・課題は、期日までに取り組むようにしてください。						
(10)履修上の注意	・授業への積極的な参加と定期的に出題される課題への意欲的な取り組みが必要です。 また、授業外でも、英語に触れる機会を作るようにしてください。 ・再履修生は9月28日（月）迄に許可を得た上で、第1回の授業に出席してください。						
(11)質問,相談への対応	まずは、メールにて受け付けます。 メールアドレス： t_horai@shinshu-u.ac.jp						
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。						

(12)授業への出席	・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	Michiko Ueki, et al., ILLUMINATING THE PATH TO THE TOEIC L&R TEST, ISBN:9784764741270, KINSEIDO, 2021. Paul Macintyre and David Bohlke, READING EXPLORER 2, Third Edition, Student's Book with the Spark Platform, ISBN:9798214085630, National Geographic Learning.
【参考書】	指定しない